「大東亜戦争」―戦争指導―

（1）戦争の目的

* 1941年11月15日「対米英蘭蒋戦争終末促進ニ関スル腹案」（杉之尾、141頁）

1941年12月8日　開戦日

* 真珠湾攻撃直後の1941年12月12日に戦争の呼称を「支那事変」も含めた、

「大東亜戦争」に改め、戦争目的を「大東亜共栄圏」の建設と設定された。

（有馬、281頁）

大東亜戦争の戦争目的は自存自衛+東亜新秩序　（表裏の関係？）

　　　　→天皇や海軍；自存自衛⇔政府や陸軍：新秩序建設　思想が統一されず。

　　　　※開戦後の戦局が有利な時には新秩序建設が重く見られがち。 （森松、223頁）

* 「自存自衛」と「アジアの解放」
* 陸軍の分裂：「自存自衛」⇔「アジアの解放」（「大東亜新秩序建設」）
* 「陸海軍の開戦準備命令」（1941年11月5日の会議を受けて）

陸軍：「自存自衛を完うし大東亜の新秩序を建設する為」

海軍：「自存自衛のため」

（戸部、34；防衛研、17）

* 「自存自衛」の意味変容
* 開戦時；南方の戦略資源（石油資源の確保）
* 終末時；国土の防衛と体制の維持（戸部、38）

（2）「大東亜共栄圏」

* 「大東亜共同宣言」と「大東亜共栄圏」
* 「大東亜共同宣言」（1943年11月）を発表。

「『主導国』日本を前提として、日本に『主導』されるアジア諸国と日本によって作られる『大東亜共栄圏』を不定して、アジア諸国との間で『自主独立』『平等互恵』の原則を確立することが、日本の戦争目的として、新たに掲げられた。」（井上、228）

* アメリカを意識した宣言（「大西洋憲章」を念頭に）

「たとえ戦争に軍事的に敗れても、戦争目的は達成できる。このような敗戦の

合理化のために、『大東亜共同宣言』を起草した」（井上、228－9）

（3）「絶対国防圏」

参考文献

1. 井上寿一『増補 アジア主義を問いなおす』筑摩書房（ちくま学芸文庫）、2016年
2. 戸部良一『自壊の病理―日本陸軍の組織分析』日本経済新聞出版社、2017年
3. 防衛庁防衛研修所戦史室『戦史叢書　大本営陸軍部〈3〉』朝雲新聞社、1970年
4. 杉之尾宜生『大東亜戦争 敗北の本質』ちくま新書、2015年
5. 有馬学『帝国の昭和』 (日本の歴史23）講談社学術文庫、2010年
6. 森松俊夫『大本営』教育社歴史新書、1980年；1986年新装第二刷